

2020年9月23日

北海道文教大学 2020年3月実施卒業時アンケート報告書

教育開発センター

2020年(令和2年)3月(平成31年度卒業生)に実施された卒業時アンケートについて、2019年(平成31年)と比較して報告する。なお、修士課程アンケートは件数が少ないため分析は学士課程のみについて行った。アンケートは選択肢による回答と自由記述による回答項目があり以下のようにまとめた。

◎選択肢による回答は「大変満足」5点、「満足」4点、「やや満足」3点、「やや不満」2点、「不満」1点として平均した値を、各質問項目・各学科別で集計した。作成した表は各分野とも以下の8種類の表を作成した。

①2019年3月調査(前年度報告済み)

②2020年3月調査(今回の結果)

③2017年3月調査から2018年3月調査への変化分(昨年報告済み)

(2017年3月卒業生は2016年度(平成28年度)卒業生)

①～③の各セル内のデータバーは最小値2、最大値4.5で描かれている。評価の高低が年度ごとにわかる表である。

④2018年3月調査から2019年3月調査への変化分(昨年報告済み)

⑤2019年3月調査から2020年3月調査への変化分(今回の結果)

数値上得られた変化量の表である。

⑥2017年3月調査から2018年3月調査で統計学的に変化が認められる項目(昨年報告済み)

⑦2018年3月調査から2019年3月調査で統計学的に変化が認められる項目(昨年報告済み)

⑧2019年3月調査から2020年3月調査で統計学的に変化が認められる項目(今回の結果)

統計学的な変化は効果量(マンホイットニー検定のZ値を両群のサンプルサイズの和の平方根で除した値)が小以上(0.1以上)となった項目とし、変化が認められた場合のみ、変化量も記入した。

この表のうち、通常の数字が記載されているところは効果量小、太字の数字があるところは効果量中(0.3以上)が認められた項目とした。また、効果量がなし(0.1以下)となった(変化がないといってよい)場合には数値は空白とした。

◎自由記述による回答は同類の項目をまとめた。

◎回答率

2019年3月

2019年3月	国際言語	健康栄養	理学療法	作業療法	看護	こども発達	全学
卒業生数	76	144	101	46	96	104	567
回答数	65	132	88	45	91	95	516
回収率	85.5%	91.7%	87.1%	97.8%	94.8%	91.3%	91.0%

2020年3月

2020年3月	国際言語	健康栄養	理学療法	作業療法	看護	こども発達	全学
卒業生数	73	152	79	49	85	103	541
回答数	27	61	39	25	43	31	226
回答率	37.0%	40.1%	49.4%	51.0%	50.6%	30.1%	41.8%

今回は、新型コロナウイルス感染拡大にともなって北海道で緊急事態宣言が発出され学位授与式が中止となった。そのため、卒業時アンケートも郵送にて行った。したがって回答率が昨年より大幅に低下した。

I. 学生支援、大学設備に関する満足度

◆ 評価の平均点

2019年3月調査（昨年報告済み）

2019年3月	国際	健康	理学	作業	看護	こ発	全学
学習・履修に関する指導(ガイダンスや個別指導等)	3.46	3.40	3.49	3.54	3.51	3.67	3.51
図書館でのサービス	3.83	3.59	3.19	3.79	3.67	3.77	3.60
教室の設備	3.35	3.04	3.08	2.92	3.14	3.15	3.10
大学側からの経済的な支援	3.27	2.92	2.75	2.81	2.96	3.06	2.94
保健管理センターでのケア	3.88	3.64	3.63	3.65	3.56	3.58	3.64
生活上の問題(精神面、ハラスメント等)に関する相談の対応	3.89	3.51	3.54	3.30	3.56	3.52	3.54
福利厚生施設(食堂や売店等)の設備	3.62	3.37	3.61	3.42	3.57	3.40	3.48
課外活動施設(グラウンドや体育館)の設備	3.68	3.35	3.33	3.16	3.53	3.29	3.37
就職・進学に対する支援	3.64	3.79	3.60	3.74	3.97	3.70	3.76

2020年3月調査（今回の結果）

2020年3月	国際	健康	理学	作業	看護	こ発	全学
学習・履修に関する指導(ガイダンスや個別指導等)	3.77	3.31	3.49	3.61	3.40	3.79	3.51
図書館でのサービス	3.89	3.68	3.44	3.68	3.58	4.13	3.71
教室の設備	3.37	2.70	3.46	2.80	2.91	3.23	3.04
大学側からの経済的な支援	3.46	2.84	2.75	2.79	2.96	3.48	3.02
保健管理センターでのケア	4.07	3.72	3.55	4.00	3.90	3.90	3.80
生活上の問題(精神面、ハラスメント等)に関する相談の対応	4.30	3.38	3.53	3.78	3.70	4.18	3.78
福利厚生施設(食堂や売店等)の設備	4.19	3.53	3.38	3.48	3.52	3.73	3.60
課外活動施設(グラウンドや体育館)の設備	3.70	3.38	3.26	3.67	3.65	3.61	3.51
就職・進学に対する支援	4.20	4.05	3.84	3.92	4.07	4.00	4.01

◆ 評価の平均点の変化

2017年3月調査から2018年3月調査への変化分（昨年報告済み）

（2017年3月卒業生は2016年度（平成28年度）卒業生）

H29年度-H28年度	国際	健康	理学	作業	看護	こ発	全学
学習・履修に関する指導(ガイダンスや個別指導等)	-0.08	0.20	-0.03	0.04	0.57	0.26	0.17
図書館でのサービス	0.03	0.67	0.27	0.43	0.66	0.34	0.42
教室の設備	0.06	0.24	0.23	0.24	0.30	0.02	0.17
大学側からの経済的な支援	0.24	0.38	0.22	0.09	0.58	0.45	0.34
保健管理センターでのケア	-0.23	0.32	0.02	0.59	0.13	0.37	0.18
生活上の問題(精神面、ハラスメント等)に関する相談の対応	0.21	0.33	-0.18	0.23	0.48	0.32	0.24
福利厚生施設(食堂や売店等)の設備	-0.08	0.39	0.20	0.55	0.37	0.47	0.30
課外活動施設(グラウンドや体育館)の設備	-0.03	0.25	0.26	0.08	0.39	0.36	0.24
就職・進学に対する支援	0.12	0.32	0.11	0.21	0.22	0.19	0.20

2018年3月調査から2019年3月調査への変化分（昨年報告済み）

2019年3月-2018年3月	国際	健康	理学	作業	看護	こ発	全学
学習・履修に関する指導(ガイダンスや個別指導等)	-0.11	-0.19	-0.18	-0.14	0.19	-0.18	-0.10
図書館でのサービス	-0.05	-0.16	-0.56	0.13	0.06	-0.05	-0.15
教室の設備	-0.03	-0.12	-0.34	0.01	0.36	-0.06	0.01
大学側からの経済的な支援	-0.04	-0.09	-0.50	-0.25	0.16	-0.15	-0.15
保健管理センターでのケア	0.21	-0.19	-0.12	-0.25	0.11	-0.19	-0.09
生活上の問題(精神面、ハラスメント等)に関する相談の対応	0.01	-0.34	-0.13	-0.52	0.45	-0.31	-0.14
福利厚生施設(食堂や売店等)の設備	0.18	0.03	-0.05	0.09	0.42	-0.28	0.05
課外活動施設(グラウンドや体育館)の設備	0.17	-0.10	-0.21	-0.21	0.19	-0.31	-0.10
就職・進学に対する支援	-0.32	-0.01	-0.27	-0.57	0.11	0.03	-0.11

2019年3月調査から2020年3月調査への変化分(今回の結果)

2020年3月-2019年3月	国際	健康	理学	作業	看護	こ発	全学
学習・履修に関する指導(ガイダンスや個別指導等)	0.31	-0.09	0.00	0.07	-0.10	0.12	0.00
図書館でのサービス	0.06	0.09	0.24	-0.11	-0.09	0.36	0.11
教室の設備	0.02	-0.33	0.39	-0.12	-0.23	0.08	-0.07
大学側からの経済的な支援	0.19	-0.08	0.00	-0.02	0.01	0.41	0.08
保健管理センターでのケア	0.19	0.08	-0.07	0.35	0.34	0.32	0.15
生活上の問題(精神面、ハラスメント等)に関する相談の対応	0.41	-0.13	-0.01	0.48	0.14	0.66	0.24
福利厚生施設(食堂や売店等)の設備	0.57	0.16	-0.22	0.06	-0.04	0.34	0.12
課外活動施設(グラウンドや体育館)の設備	0.02	0.03	-0.06	0.50	0.12	0.32	0.13
就職・進学に対する支援	0.56	0.26	0.23	0.18	0.10	0.30	0.26

◆ 統計学的に変化が認められる項目

2017年3月調査から2018年3月調査で統計学的に変化が認められる項目(昨年報告済み)

H29年度-H28年度	国際	健康	理学	作業	看護	こ発	全学
学習・履修に関する指導(ガイダンスや個別指導等)		0.20			0.57	0.26	
図書館でのサービス		0.67		0.43	0.66	0.34	0.42
教室の設備		0.24		0.24	0.30		
大学側からの経済的な支援	0.24	0.38	0.22		0.58	0.45	0.34
保健管理センターでのケア	-0.23	0.32		0.59		0.37	
生活上の問題(精神面、ハラスメント等)に関する相談の対応		0.33	-0.18	0.23	0.48	0.32	0.24
福利厚生施設(食堂や売店等)の設備		0.39		0.55	0.37	0.47	0.30
課外活動施設(グラウンドや体育館)の設備		0.25			0.39	0.36	0.24
就職・進学に対する支援		0.32		0.21	0.22		

2018年3月調査から2019年3月調査で統計学的に変化が認められる項目(昨年報告済み)

2019年3月-2018年3月	国際	健康	理学	作業	看護	こ発	全学
学習・履修に関する指導(ガイダンスや個別指導等)		-0.19				-0.18	
図書館でのサービス		-0.16	-0.56				
教室の設備			-0.34		0.36		
大学側からの経済的な支援			-0.50	-0.25			
保健管理センターでのケア	0.21			-0.25			
生活上の問題(精神面、ハラスメント等)に関する相談の対応		-0.34		-0.52	0.45	-0.31	
福利厚生施設(食堂や売店等)の設備					0.42	-0.28	
課外活動施設(グラウンドや体育館)の設備			-0.21		0.19	-0.31	
就職・進学に対する支援	-0.32		-0.27	-0.57			

2019年3月調査から2020年3月調査で統計学的に変化が認められる項目(今回の結果)

2020年3月-2019年3月	国際	健康	理学	作業	看護	こ発	全学
学習・履修に関する指導(ガイダンスや個別指導等)	0.31						
図書館でのサービス							
教室の設備		-0.33	0.39			0.08	
大学側からの経済的な支援							
保健管理センターでのケア	0.19			0.35	0.34		
生活上の問題(精神面、ハラスメント等)に関する相談の対応	0.41			0.48			0.24
福利厚生施設(食堂や売店等)の設備	0.57		-0.22			0.34	
課外活動施設(グラウンドや体育館)の設備				0.50			
就職・進学に対する支援	0.56	0.26	0.23	0.18		0.30	0.26

2019年3月調査と2020年3月調査を比較すると、全学でみたときに生活上の問題への対応、就職支援に対する評価がよくなった。また、多くの項目で国際言語学科、作業学科の評価値が昨年より改善した。一方、健康栄養学科では教室の設備で評価が低くなっており、下記の記述欄で具体的な内容が記されている。

II 大学在学中に身についた能力の自己評価

◆ 評価の平均点

2019年3月調査（昨年報告済み）

2019年3月	国際	健康	理学	作業	看護	ご発	全学
問12 専門領域以外の幅広い教養が身についた。	3.78	3.64	3.72	3.49	3.63	4.09	3.74
問13 専門領域における基本的な知識が身についた(外国語学部の場合は外国語を実践的に運用できる知識)	3.82	3.84	3.85	3.92	3.85	4.18	3.91
問14 所属する学科の専門領域における基本的な技能・技術が身についた。	3.75	3.73	3.90	3.82	3.89	4.26	3.90
問15 文章力、対人コミュニケーション、プレゼンテーションとディスカッションの基本的な能力が身についた。	3.73	3.52	3.59	3.47	3.72	4.02	3.68
問16 問題解決のために必要な情報を収集分析し、課題を解決へ導くことができるようになった。	3.70	3.52	3.63	3.59	3.69	3.82	3.65
問17 職業上で関わる対象者を尊重する心構えが身についた。	3.83	3.84	3.99	4.03	4.00	4.27	3.99
問18 専門領域の分野を自ら進んで学び続けるための知識や意欲を獲得した。	3.80	3.76	3.89	3.90	3.79	4.17	3.88
問19 他職種の役割を理解して連携するイメージをもつことができた。	3.75	3.78	3.82	4.03	3.83	4.10	3.88
問20 社会人・職業人としての基本的なルールとマナーが身についた。	3.78	3.80	3.78	3.77	3.78	4.03	3.78
問21 社会人・職業人としての倫理観、使命感が身についた。	3.85	3.64	3.82	3.87	3.79	4.10	3.83

2020年3月調査（今回の結果）

2020年3月	国際	健康	理学	作業	看護	ご発	全学
問12 専門領域以外の幅広い教養が身についた。	4.15	3.45	3.54	3.60	3.60	4.00	3.64
問13 専門領域における基本的な知識が身についた(外国語学部の場合は外国語を実践的に運用できる知識)	3.93	3.97	4.00	4.20	4.00	4.10	4.02
問14 所属する学科の専門領域における基本的な技能・技術が身についた。	3.93	3.72	3.95	4.12	4.02	4.06	3.93
問15 文章力、対人コミュニケーション、プレゼンテーションとディスカッションの基本的な能力が身についた。	4.04	3.32	3.66	3.52	3.72	3.74	3.62
問16 問題解決のために必要な情報を収集分析し、課題を解決へ導くことができるようになった。	3.93	3.38	3.62	3.52	3.95	3.61	3.64
問17 職業上で関わる対象者を尊重する心構えが身についた。	3.96	4.05	4.23	4.52	4.35	4.13	4.19
問18 専門領域の分野を自ら進んで学び続けるための知識や意欲を獲得した。	4.00	3.82	3.85	4.00	4.00	4.00	3.92
問19 他職種の役割を理解して連携するイメージをもつことができた。	3.70	3.73	3.97	4.16	4.16	3.87	3.92
問20 社会人・職業人としての基本的なルールとマナーが身についた。	3.96	3.46	3.74	3.96	3.79	3.74	3.73
問21 社会人・職業人としての倫理観、使命感が身についた。	3.93	3.53	3.72	4.04	3.88	3.74	3.76

◆ 評価の平均点の変化

2017年3月調査から2018年3月調査への変化分（昨年報告済み）

H29年度-H28年度	国際	健康	理学	作業	看護	ご発	全学
問12 専門領域以外の幅広い教養が身についた。	-0.01	0.06	0.18	-0.08	0.38	0.38	0.16
問13 専門領域における基本的な知識が身についた(外国語学部の場合は外国語を実践的に運用できる知識)	-0.08	0.09	0.01	0.20	0.13	0.39	0.12
問14 所属する学科の専門領域における基本的な技能・技術が身についた。	0.04	0.15	-0.10	0.02	0.24	0.22	0.10
問15 文章力、対人コミュニケーション、プレゼンテーションとディスカッションの基本的な能力が身についた。	-0.04	0.14	0.15	0.08	0.24	0.31	0.16
問16 問題解決のために必要な情報を収集分析し、課題を解決へ導くことができるようになった。	0.08	0.15	-0.11	0.08	0.23	0.47	0.15
問17 職業上で関わる対象者を尊重する心構えが身についた。	0.10	0.23	-0.17	-0.04	0.09	0.21	0.09
問18 専門領域の分野を自ら進んで学び続けるための知識や意欲を獲得した。	-0.04	0.19	-0.08	0.09	0.36	0.32	0.15
多様な人々(異文化の人々も含む)の考えや気持ち、行動を理解して幅広い視点から考えることができるようになった。					廃止		
問19 他職種の役割を理解して連携するイメージをもつことができた。	-0.05	0.06	-0.03	0.20	0.23	0.30	0.11
問20 社会人・職業人としての基本的なルールとマナーが身についた。	-0.15	0.12	-0.13	0.09	0.24	0.28	0.08
問21 社会人・職業人としての倫理観、使命感が身についた。	-0.14	0.20	0.01	-0.12	0.28	0.37	0.14

2018年3月調査から2019年3月調査への変化分（昨年報告済み）

2019年3月-2018年3月	国際	健康	理学	作業	看護	ご発	全学
問12 専門領域以外の幅広い教養が身についた。	0.07	0.09	-0.05	-0.18	0.30	0.35	0.12
問13 専門領域における基本的な知識が身についた(外国語学部の場合は外国語を実践的に運用できる知識)	0.16	-0.01	-0.09	-0.23	0.23	0.19	0.06
問14 所属する学科の専門領域における基本的な技能・技術が身についた。	0.01	-0.22	-0.04	-0.27	0.11	0.30	0.00
問15 文章力、対人コミュニケーション、プレゼンテーションとディスカッションの基本的な能力が身についた。	-0.06	-0.07	-0.19	-0.33	0.10	0.17	-0.04
問16 問題解決のために必要な情報を収集分析し、課題を解決へ導くことができるようになった。	-0.07	-0.11	-0.13	-0.23	0.04	0.01	-0.07
問17 職業上で関わる対象者を尊重する心構えが身についた。	-0.05	-0.16	-0.03	-0.29	0.13	0.14	-0.02
問18 専門領域の分野を自ら進んで学び続けるための知識や意欲を獲得した。	0.07	-0.12	-0.06	-0.26	-0.02	0.22	-0.01
問19 他職種の役割を理解して連携するイメージをもつことができた。	0.05	-0.10	-0.19	-0.17	-0.05	0.21	-0.04
問20 社会人・職業人としての基本的なルールとマナーが身についた。	0.02	-0.16	-0.13	-0.28	0.06	0.05	-0.06
問21 社会人・職業人としての倫理観、使命感が身についた。	0.05	-0.12	-0.12	-0.06	0.10	0.07	-0.02

2019年3月調査から2020年3月調査への変化分（今回の結果）

2020年3月-2019年3月	国際	健康	理学	作業	看護	ご発	全学
問12 専門領域以外の幅広い教養が身についた。	0.37	-0.19	-0.18	0.11	-0.21	-0.09	-0.10
問13 専門領域における基本的な知識が身についた(外国語学部の場合は外国語を実践的に運用できる知識)	0.11	0.13	0.15	0.28	0.15	-0.08	0.10
問14 所属する学科の専門領域における基本的な技能・技術が身についた。	0.18	-0.01	0.05	0.30	0.14	-0.20	0.03
問15 文章力、対人コミュニケーション、プレゼンテーションとディスカッションの基本的な能力が身についた。	0.31	-0.21	0.07	0.05	0.01	-0.28	-0.06
問16 問題解決のために必要な情報を収集分析し、課題を解決へ導くことができるようになった。	0.23	-0.14	-0.02	-0.07	0.26	-0.21	-0.01
問17 職業上で関わる対象者を尊重する心構えが身についた。	0.13	0.21	0.24	0.49	0.35	-0.14	0.20
問18 専門領域の分野を自ら進んで学び続けるための知識や意欲を獲得した。	0.20	0.06	-0.05	0.10	0.21	-0.17	0.04
問19 他職種の役割を理解して連携するイメージをもつことができた。	-0.05	-0.05	0.16	0.13	0.33	-0.23	0.04
問20 社会人・職業人としての基本的なルールとマナーが身についた。	0.21	-0.14	-0.04	0.19	0.01	-0.29	-0.05
問21 社会人・職業人としての倫理観、使命感が身についた。	0.08	-0.11	-0.10	0.17	0.09	-0.36	-0.06

◆ 統計学的に変化が認められる項目

2017年3月調査から2018年3月調査で統計学的に変化が認められる項目（昨年報告済み）

H29年度-H28年度	国際	健康	理学	作業	看護	ご発	全学
問12 専門領域以外の幅広い教養が身についた。			0.18		0.38	0.38	
問13 専門領域における基本的な知識が身についた(外国語学部の場合は外国語を実践的に運用できる知識)				0.20		0.39	
問14 所属する学科の専門領域における基本的な技能・技術が身についた。					0.24	0.22	
問15 文章力、対人コミュニケーション、プレゼンテーションとディスカッションの基本的な能力が身についた。					0.24	0.31	
問16 問題解決のために必要な情報を収集分析し、課題を解決へ導くことができるようになった。		0.15			0.23	0.47	
問17 職業上で関わる対象者を尊重する心構えが身についた。		0.23	(0.17)			0.21	
問18 専門領域の分野を自ら進んで学び続けるための知識や意欲を獲得した。		0.19			0.36	0.32	
多様な人々(異文化の人々も含む)の考えや気持ち、行動を理解して幅広い視点から考えることができるようになった。					廃止		
問19 他職種の役割を理解して連携するイメージをもつことができた。				0.20	0.23	0.30	
問20 社会人・職業人としての基本的なルールとマナーが身についた。					0.24	0.28	
問21 社会人・職業人としての倫理観、使命感が身についた。		0.20			0.28	0.37	

2018年3月調査から2019年3月調査で統計学的に変化が認められる項目（昨年報告済み）

2019年3月-2018年3月	国際	健康	理学	作業	看護	こ発	全学
問12 専門領域以外の幅広い教養が身についた。					0.30	0.35	
問13 専門領域における基本的な知識が身についた(外国語学部の場合は外国語を実践的に運用できる知識と)	0.16			(0.23)	0.23	0.19	
問14 所属する学科の専門領域における基本的な技能・技術が身についた。		(0.22)		(0.27)		0.30	
問15 文章力、対人コミュニケーション、プレゼンテーションとディスカッションの基本的な能力が身についた。			(0.19)	(0.33)		0.17	
問16 問題解決のために必要な情報を収集分析し、課題を解決へ導くことができるようになった。				(0.23)			
問17 職業上で関わる対象者を尊重する心構えが身についた。				(0.29)			
問18 専門領域の分野を自ら進んで学び続けるための知識や意欲を獲得した。				(0.26)		0.22	
問19 他職種の役割を理解して連携するイメージをもつことができた。						0.21	
問20 社会人・職業人としての基本的なルールとマナーが身についた。				(0.28)			
問21 社会人・職業人としての倫理観、使命感が身についた。							

2019年3月調査から2020年3月調査で統計学的に変化が認められる項目（今回の結果）

2020年3月-2019年3月	国際	健康	理学	作業	看護	こ発	全学
問12 専門領域以外の幅広い教養が身についた。	0.37	(0.19)			(0.21)		
問13 専門領域における基本的な知識が身についた(外国語学部の場合は外国語を実践的に運用できる知識と)				0.28			
問14 所属する学科の専門領域における基本的な技能・技術が身についた。				0.30		(0.20)	
問15 文章力、対人コミュニケーション、プレゼンテーションとディスカッションの基本的な能力が身についた。	0.31					(0.28)	
問16 問題解決のために必要な情報を収集分析し、課題を解決へ導くことができるようになった。					0.26	(0.21)	
問17 職業上で関わる対象者を尊重する心構えが身についた。		0.21	0.24	0.49	0.35	(0.14)	0.20
問18 専門領域の分野を自ら進んで学び続けるための知識や意欲を獲得した。	0.20				0.21		
問19 他職種の役割を理解して連携するイメージをもつことができた。					0.33	(0.23)	
問20 社会人・職業人としての基本的なルールとマナーが身についた。						(0.29)	
問21 社会人・職業人としての倫理観、使命感が身についた。						(0.36)	

こども発達学科では2017年3月から2019年3月まで一貫して身についた能力の自己評価値が高くなっていましたが、2020年3月では低くなりました。作業療法学科では2019年3月に自己評価値が軒並み低下しましたが、2020年3月やや自己評価値が回復した。看護学科ではこの3年間ほぼ一貫して自己評価値が向上している。国際言語学科も自己評価値が高くなった項目が以前より多くみられた。その他の学科では変化のある項目は少なく、ほぼ現状維持であった。

なお、参考までに質問項目と各学科のディプロマーポリシー（DP）との対応を以下に示す。

卒業時アンケート項目	国際言語	健康栄養	理学	作業	看護	こども発達
問12 幅広い教養が身についた。						
問13 外国語学部 英語を実践的に運用できる知識とスキルを得た。 人間科学部 専門領域における基本的な知識が身についた。	DP1 DP2			DP1	DP1	DP2
問14 所属する学科の専門領域における基本的な技能・技術が身についた。	DP3 DP4	DP3				DP1
問15 文章力、対人的コミュニケーション、プレゼンテーションとディスカッションの基本的な能力が身についた。			DP7	DP3		DP3
問16 問題解決のために必要な情報を収集分析し、課題を解決へ導くことができるようになった。	DP7	DP2	DP3	DP5	DP4	DP5
問17 職業上で関わる対象者を尊重する心構えが身についた。			DP4	DP4		
問18 専門領域の分野を自ら進んで学び続けるための知識や意欲を獲得した。			DP2	DP2	DP3	DP4
問19 他職種の役割を理解して連携するイメージをもつことができた。			DP5		DP2	
問20 社会人・職業人としての基本的なルールとマナーが身についた。	DP5					
問21 社会人・職業人としての倫理観、使命感が身についた。	DP6	DP1	DP6			

Ⅲ. 大学でのカリキュラムに関して

◆ 評価の平均点

2019年3月調査（昨年報告済み）

2019年3月	国際	健康	理学	作業	看護	こ発	全学
問22 専門分野を学ぶにあたり、教養科目での学びが役に立った。	3.61	3.62	3.70	3.64	3.69	4.07	3.74
問23 専門科目(人間科学部は専門基礎科目を含む)における各科目の関係から専門領域の全体像が理解できた。	3.73	3.55	3.76	3.74	3.67	3.92	3.71
問24 履修した授業によって、所属する学科の到達目標を達成できた。	3.80	3.66	3.78	3.68	3.65	4.02	3.76
問25 専門科目(人間科学部は専門基礎科目を含む)で履修した科目で最新の知識を学ぶことができた。	3.73	3.60	3.73	3.76	3.69	3.98	3.74
問26 どの科目を選択するか選択に迷うことはなかった。	3.36	3.61	3.66	3.50	3.67	3.85	3.64

2020年3月調査（今回の結果）

2020年3月	国際	健康	理学	作業	看護	こ発	全学
問22 専門分野を学ぶにあたり、教養科目での学びが役に立った。	3.81	3.41	3.74	3.68	3.65	3.68	3.63
問23 専門科目(人間科学部は専門基礎科目を含む)における各科目の関係から専門領域の全体像が理解できた。	4.08	3.53	3.79	3.96	3.53	3.71	3.71
問24 履修した授業によって、所属する学科の到達目標を達成できた。	4.04	3.65	3.89	3.84	3.69	3.68	3.77
問25 専門科目(人間科学部は専門基礎科目を含む)で履修した科目で最新の知識を学ぶことができた。	3.84	3.79	3.87	3.59	3.76	3.86	3.79
問26 どの科目を選択するか選択に迷うことはなかった。	3.40	3.63	3.76	3.86	4.00	3.77	3.73

◆ 評価の平均点の変化

2017年3月調査から2018年3月調査への変化分（昨年報告済み）

H29年度→H28年度	国際	健康	理学	作業	看護	ご発	全学
問22 専門分野を学ぶにあたり、教養科目での学びが役に立った。	0.00	0.01	0.03	-0.13	0.50	0.38	0.14
問23 専門科目（人間科学部は専門基礎科目を含む）における各科目の関係から専門領域の全体像が理解できた。	-0.04		0.03	0.01	0.20	0.28	0.12
問24 履修した授業によって、所属する学科の到達目標を達成できた。	-0.10	0.21	0.09	-0.26	0.33	0.23	0.13
問25 専門科目（人間科学部は専門基礎科目を含む）で履修した科目で最新の知識を学ぶことができた。	-0.16	0.26	0.04	-0.06	0.36	0.31	0.16
問26 どの科目を選択するか選択に迷うことはなかった。	-0.08	0.21	0.15	0.27	0.21	0.33	0.19

2018年3月調査から2019年3月調査への変化分（昨年報告済み）

2019年3月-2018年3月	国際	健康	理学	作業	看護	ご発	全学
問22 専門分野を学ぶにあたり、教養科目での学びが役に立った。	-0.24	-0.08	-0.05	0.05	0.15	0.12	0.00
問23 専門科目（人間科学部は専門基礎科目を含む）における各科目の関係から専門領域の全体像が理解できた。	-0.02	-0.27	-0.17	-0.14	0.09	0.06	-0.09
問24 履修した授業によって、所属する学科の到達目標を達成できた。	0.00	-0.10	-0.09	0.02	0.04	0.19	0.00
問25 専門科目（人間科学部は専門基礎科目を含む）で履修した科目で最新の知識を学ぶことができた。	-0.04	-0.25	-0.20	0.03	0.13	0.08	-0.06
問26 どの科目を選択するか選択に迷うことはなかった。	-0.39	-0.14	-0.16	-0.21	0.04	0.08	-0.09

2019年3月調査から2020年3月調査への変化分（今回の結果）

2020年3月-2019年3月	国際	健康	理学	作業	看護	ご発	全学
問22 専門分野を学ぶにあたり、教養科目での学びが役に立った。	0.21	-0.21	0.04	0.04	-0.04	-0.39	-0.11
問23 専門科目（人間科学部は専門基礎科目を含む）における各科目の関係から専門領域の全体像が理解できた。	-0.35	-0.02	0.03	0.22	-0.14	-0.21	0.00
問24 履修した授業によって、所属する学科の到達目標を達成できた。	0.24	-0.01	0.11	0.16	0.04	-0.35	0.01
問25 専門科目（人間科学部は専門基礎科目を含む）で履修した科目で最新の知識を学ぶことができた。	0.11	0.19	0.14	-0.17	0.07	-0.12	0.06
問26 どの科目を選択するか選択に迷うことはなかった。	0.04	0.02	0.11	0.36	0.33	-0.08	0.09

◆ 統計学的に変化が認められる項目

2017年3月調査から2018年3月調査で統計学的に変化が認められる項目（昨年報告済み）

H29年度→H28年度	国際	健康	理学	作業	看護	ご発	全学
問22 専門分野を学ぶにあたり、教養科目での学びが役に立った。					0.50	0.38	
問23 専門科目（人間科学部は専門基礎科目を含む）における各科目の関係から専門領域の全体像が理解できた。					0.20	0.28	
問24 履修した授業によって、所属する学科の到達目標を達成できた。		0.21		(0.26)	0.33	0.23	
問25 専門科目（人間科学部は専門基礎科目を含む）で履修した科目で最新の知識を学ぶことができた。		0.26			0.36	0.31	0.16
問26 どの科目を選択するか選択に迷うことはなかった。		0.21		0.27	0.21	0.33	

2018年3月調査から2019年3月調査で統計学的に変化が認められる項目（昨年報告済み）

2019年3月-2018年3月	国際	健康	理学	作業	看護	ご発	全学
問22 専門分野を学ぶにあたり、教養科目での学びが役に立った。							
問23 専門科目（人間科学部は専門基礎科目を含む）における各科目の関係から専門領域の全体像が理解できた。		(0.27)	(0.17)				
問24 履修した授業によって、所属する学科の到達目標を達成できた。						0.19	
問25 専門科目（人間科学部は専門基礎科目を含む）で履修した科目で最新の知識を学ぶことができた。		(0.25)	(0.20)				
問26 どの科目を選択するか選択に迷うことはなかった。	(0.39)			(0.21)			

2019年3月調査から2020年3月調査で統計学的に変化が認められる項目（今回の結果）

2020年3月-2019年3月	国際	健康	理学	作業	看護	ご発	全学
問22 専門分野を学ぶにあたり、教養科目での学びが役に立った。		(0.21)				(0.39)	
問23 専門科目（人間科学部は専門基礎科目を含む）における各科目の関係から専門領域の全体像が理解できた。	0.35			0.22		(0.21)	
問24 履修した授業によって、所属する学科の到達目標を達成できた。	0.24					(0.35)	
問25 専門科目（人間科学部は専門基礎科目を含む）で履修した科目で最新の知識を学ぶことができた。			0.14	(0.17)			
問26 どの科目を選択するか選択に迷うことはなかった。				0.36	0.33		

こども発達学科では専門領域の全体像の把握、到達目標の達成感が低くなっている。一方、国際言語学科では専門領域の全体像の把握、到達目標の達成感の評価値が高くなった。作業療法学科は専門領域の全体像の把握が向上した。理学療法学科では最新の知識が学べているかの評価値がやや回復した。

IV. 総合的な満足度に関して

◆ 評価の平均点

2019年3月調査（昨年報告済み）

2019年3月	国際	健康	理学	作業	看護	ご発	全学
問28 大学における学修は満足できるものでしたか。	3.76	3.63	3.80	3.69	3.67	4.03	3.76
問29 あなたの大学生活は充実していましたか。	3.85	3.80	4.03	3.64	3.80	4.22	3.92
問30 大学生活を総合的に考えて、本学で学んで良かったと感じていますか。	3.95	3.65	3.98	3.79	3.78	4.28	3.89

2020年3月調査（今回の結果）

2020年3月		国際	健康	理学	作業	看護	こ発	全学
問28	大学における学修は満足できるものでしたか。	3.93	3.48	3.97	3.96	3.67	3.97	3.77
問29	あなたの大学生活は充実していましたか。	4.04	3.92	4.21	4.28	3.95	4.39	4.09
問30	大学生活を総合的に考えて、本学で学んで良かったと感じていますか。	4.04	3.88	4.08	4.16	4.12	4.52	4.10

◆ 評価の平均点の変化

2017年3月調査から2018年3月調査への変化分（昨年報告済み）

H29年度-H28年度		国際	健康	理学	作業	看護	こ発	全学
問27	大学における学修は満足できるものでしたか。	-0.01	0.09	0.06	0.15	0.57	0.12	0.16
問28	あなたの大学生活は充実していましたか。	-0.15	0.06	0.10	-0.03	0.52	0.09	0.11
問29	大学生活を総合的に考えて、本学で学んで良かったと感じていますか。	-0.08	-0.02	0.03	0.08	0.78	0.06	0.14

2018年3月調査から2019年3月調査への変化分（昨年報告済み）

2019年3月-2018年3月		国際	健康	理学	作業	看護	こ発	全学
問28	大学における学修は満足できるものでしたか。	-0.02	-0.11	-0.14	-0.36	0.02	0.02	-0.08
問29	あなたの大学生活は充実していましたか。	0.02	-0.15	-0.01	-0.56	-0.12	0.13	-0.08
問30	大学生活を総合的に考えて、本学で学んで良かったと感じていますか。	0.03	-0.21	-0.04	-0.45	0.03	0.17	-0.06

2019年3月調査から2020年3月調査への変化分（今回の結果）

2020年3月-2019年3月		国際	健康	理学	作業	看護	こ発	全学
問28	大学における学修は満足できるものでしたか。	0.17	-0.15	0.17	0.27	0.00	-0.07	0.01
問29	あなたの大学生活は充実していましたか。	0.18	0.12	0.17	0.64	0.16	0.16	0.18
問30	大学生活を総合的に考えて、本学で学んで良かったと感じていますか。	0.09	0.24	0.10	0.37	0.34	0.24	0.21

◆ 統計学的に変化が認められる項目

2017年3月調査から2018年3月調査で統計学的に変化が認められる項目（昨年報告済み）

H29年度-H28年度		国際	健康	理学	作業	看護	こ発	全学
問27	大学における学修は満足できるものでしたか。				0.15	0.57		
問28	あなたの大学生活は充実していましたか。					0.52		
問29	大学生活を総合的に考えて、本学で学んで良かったと感じていますか。					0.78		

2018年3月調査から2019年3月調査で統計学的に変化が認められる項目（昨年報告済み）

2019年3月-2018年3月		国際	健康	理学	作業	看護	こ発	全学
問28	大学における学修は満足できるものでしたか。				(0.36)			
問29	あなたの大学生活は充実していましたか。				(0.56)			
問30	大学生活を総合的に考えて、本学で学んで良かったと感じていますか。		(0.21)		(0.45)		0.17	

2019年3月調査から2020年3月調査で統計学的に変化が認められる項目（今回の結果）

2020年3月-2019年3月		国際	健康	理学	作業	看護	こ発	全学
問28	大学における学修は満足できるものでしたか。				0.27			
問29	あなたの大学生活は充実していましたか。				0.64			
問30	大学生活を総合的に考えて、本学で学んで良かったと感じていますか。		0.24		0.37	0.34	0.24	

作業療法学科では満足度3項目すべてで改善し、一昨年状態までほぼ回復した。健康栄養学科も総合的な満足度が一昨年状態まで回復した。看護学科、こども発達学科も総合的満足度がやや向上した。こども発達学科では、問12～問26までの項目で軒並み評価が減少しているにもかかわらず総合的満足度は向上しているというねじれ現象が起こっている。その他の学科は、前年からほとんど変化がなかった。

V. 学習時間、学修行動に関して

1日あたりの学習時間回答内訳

2019年3月調査

2019年3月	国際	健康	理学	作業	看護	こ発	全学
4時間以上	0	0	0	0	0	0	0
3時間	2	3	8	6	5	0	24
2時間	8	21	9	1	17	4	60
1時間	15	29	33	14	33	22	146
ほとんどしない	12	61	37	14	29	58	211
平均時間	1.00	0.70	0.86	0.97	0.98	0.36	0.77

2020年3月調査

2020年3月	国際	健康	理学	作業	看護	こ発	全学
4時間以上	2	13	7	6	9	0	37
3時間	5	7	0	0	6	0	18
2時間	3	14	6	1	16	2	42
1時間	13	12	17	10	3	12	67
ほとんどしない	4	14	9	8	8	17	60
平均時間	1.56	1.88	1.46	1.44	2.12	0.52	1.58

◆ 評価の平均点

学習時間、学修行動に関して（平均値）

2019年3月調査

2019年3月	国際	健康	理学	作業	看護	こ発	全学
1日の平均学習時間	1.00	0.70	0.86	0.97	0.98	0.36	0.77
意欲的に取り組んだか	3.88	3.70	3.89	3.69	3.78	4.01	3.82

2020年3月調査

2020年3月	国際	健康	理学	作業	看護	こ発	全学
1日の平均学習時間	1.56	1.88	1.46	1.44	2.12	0.52	1.58
意欲的に取り組んだか	4.00	3.90	4.00	3.92	4.02	4.19	3.73

学科間の違いが大きく、今回もこども発達学科は意欲的に取り組んでいる割には学習時間が少ないという傾向となった。

◆ 評価の平均点の変化

2019年3月調査から2020年3月調査への変化分（今回の結果）

2020年3月-2019年3月	国際	健康	理学	作業	看護	こ発	全学
1日の平均学習時間	0.56	1.18	0.60	0.47	1.14	0.16	0.81
意欲的に取り組んだか	0.12	0.21	0.11	0.23	0.25	0.18	-0.09

◆ 統計学的に変化が認められる項目

2019年3月調査から2020年3月調査で統計学的に変化が認められる項目（今回の結果）

2020年3月-2019年3月	国際	健康	理学	作業	看護	こ発	全学
1日の平均学習時間		1.18	0.60	0.47	1.14	0.16	0.81
意欲的に取り組んだか		0.12	0.21		0.25		

全学の平均学習時間は0.77時間（46分）から1.58時間（95分）に増加した。ただし、今回は卒業時アンケートを郵送で行ったため回答率が低くなった。アンケートを返送してくれるような意識の高い学生は、学習時間も多いため全学的に学習時間が増加したかどうかは一概にいえぬ可能性もある。